



# 妙小だより

2025(令和7)年7月18日  
交野市立妙見坂小学校  
校長 内山美智子

学校教育目標 探究心と思いやりのある子どもの育成

めざす子ども像 自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく未来を切り開く子

## 夏休みを迎えるみなさんへ

たくさん、新しいことを学んだ一学期でしたが、夏休みの前にふり返りたいことが二つあります。

一つめは、6月に実施した人権講演会の坂東さんのお話です。ご自身の子育て経験から「障がいとは何か」「みんなと一緒に学ぶためにはどうしたらよいか」というお話をしていただきました。その中で、「みんなにお願いしたいこと」として5つ挙げられました。これは障がいの有無に関わらず人と関わる上でとても大切なことです。これからもぜひ忘れずにいてほしいと思います。

1. 特別扱いしないでね ちょっとまってくれたらきっとみんなとすごせるから僕をわけないで
2. ぼくもやってみたいんだ ぼくにもやらせてね
3. 道具を使わせてね ずるっていわないで
4. みんなに優しくしてね 今となりにいるお友達からね
5. 障がいがあってもみんなと同じ ことばがだせなくても気持ちは同じなんだよ



二つめは交野女子学院の法務教官(先生)のお話です。これは6年生のための講演会でしたが、他の学年でも知っておいてほしい内容がたくさんありました。

身近なSNSは使い方を間違えると犯罪に巻き込まれることもあり、被害に遭うだけでなく、いつの間にか自分が加害者になってしまう危険性もあります。講演の最後に「少年院にいる子からみんなに伝えたいこと」としてこの2つを挙げられていました

### ①自分も周りも大切に

みんな、それぞれが誰かの大事な人だから、自分も周りも傷つけないでね

ひとりぼっちで、寂しいときも自分を大切にね

今、少年院にいる子から  
みんなに伝えたいこと



### ②大人に相談する

顔が見える大人にまずは、相談してみよう

いきなり大きな相談するのは、難しいから、普段から相談する練習をしてみよう

家族でも、学校の先生、習い事の先生でも自分のこと、ちゃんと向き合ってくれている大人を探してみよう

今、少年院にいる子から  
みんなに伝えたいこと



明日から長い夏休みが始まります。自由に使える時間が長い分、興味があること、楽しいことをたくさん見つけて、充実した日々にしてください。